

令和7年度第2回 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画懇話会会議録

日 時 令和7年9月17日（水） 13:26～14:55

場 所 101会議室

委 員 塚本 松本 宮田 福島 今井 三輪 杉浦 坪井 松浦 南川 高橋 中根 近藤

事務局 加藤直 杉浦 木下 新實 磯村典 加藤良 細山 加藤貴 磯村真 岩上 羽田野
平野 喜田

刈谷市基幹型地域包括支援センター 河合

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 江口

意見・質疑等

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

（1）令和6年度介護保険・高齢者福祉関係事業の決算について（資料1）

【説明】 事務局

【質疑応答】

委 員 認定調査事業費の歳出が増加しているが、前年度と比較して認定調査をする対象がどの程度増加しているのか。また、介護給付費も増加しており、増加している要因についてどのように考えているか。併せて、居宅介護サービスについて、どのようなサービスの給付費が多いのか。

事務局 認定調査の対象者の増減については数値が手元にないが、認定調査事業費の増加は、令和6年度から認定調査員を1名増員し総勢16名配置したことから、調査件数や手当等が増加したものと考えている。介護給付費の増加要因としては、要介護認定者が増加していることが要因であると考えており、最も支出が多いサービスは、通所介護となる。

会 長 今後は後期高齢者が増えていく社会となり、認定者数や介護サービスを利用する方が増加するのは間違いなく、いかに介護保険事業を維持していくかが課題となる。また、介護保険会計の収支に関しては、第9期計画期間である令和6年度から令和8年度の3年間をみていくことになり、来年度以降を注視していく必要がある。

（2）高齢者福祉サービスの利用状況について（資料2）

【説明】 事務局

【質疑応答】

委員長 高齢者福祉サービス全体で利用者が増加しているが、これは想定しているものか。

事務局 高齢者人口の増加よりもサービスを利用する方は増加している。高齢者タクシー料金助成事業では、新型コロナウイルス蔓延の影響により利用者が変動するなど、サービスごとに利用者の増減を想定するのはなかなか難しい。予算上不足している事業もある。

会長 終活情報キットを配付する対象者は。

事務局 1人暮らしの高齢者を配付の対象としている。

会長 活用事例の集積や事例の効果的な周知を実施し、制度を普及させていくことが重要。

委員長 行方不明高齢者等 SOS ネットワークに登録した方は、はいかい高齢者個人賠償責任保険に加入するものと思われるが、利用者に差があるのはなぜか。

事務局 個人的に保険に加入されている場合があるため、差が生まれている。

会長 はいかい高齢者個人賠償責任保険の助成は全国的に広がってきている。これに限らず高齢者福祉サービスは、いかに周知していくかが重要であり、効果的な利用を促進していく必要がある。

(3) 地域密着型サービスの利用状況について (資料3)

【説明】 事務局

【質疑応答】

会長 グループホームは、経営母体が社会福祉法人だけではなく一般法人も運営可能なサービスということもあり、高齢者虐待の発生率が高い部類のサービスというデータもある。そのような情報はあるか。

事務局 現状はそういった情報はない。

(4) 要介護認定状況等について (資料4)

【説明】 事務局

【質疑応答】

会長 85歳以上の認定率は56%以上であり、2人に1人以上はすでに認定を持ってサービスを使っている状況である。85歳以上の高齢者人口は令和12年には令和7年度の約1.4倍になる見込みであることから、サービスの利用が増加すると思われるが、サービスの利用量は1.4倍にはならない。それは、介護人材の不足などからも、利用するサービスの供給が追いつかないことが想定され、介護を受けたくても受けられない方が出てくる可能性がある。そのため、今後はいかに介護認定を受けない高齢者を増やしていくが必要であり、介護予防に力を入れていくことが必要。

(5) 介護保険サービス事業所の指定等について (資料5)

【説明】 事務局

【質疑応答】

特になし

(6) 刈谷市高齢者等実態調査について（資料6）

【説明】 事務局

【質疑応答】

委員 介護人材実態調査における(5)-1 事業所調査について、「直前の職場」を回答する項目があるが、これはこういった意図で質問するものか。

事務局 この質問は国が示す必須調査項目であり、介護職員等の市内や市外への移動による、人の流れを把握したいものと思われる。

会長 その他何かあれば、9月末までに事務局に質問や意見を挙げてほしい。

(7) 地域包括支援センターについて（資料7-1、7-2）

【説明】 事務局

【質疑応答】

会長 7-1の資料において、委託できている包括とできていない包括があり、委託できていない包括については、ケアプランを受け持つ件数が多いことにより他の業務に影響がでていることはないか。

事務局 受け持つ地域の高齢者人口の差があり、人員配置も高齢者の人口に応じて配置しているため、件数の大小により他の業務に影響するということはないと考えている。

4 その他

事務局 次回の開催について、令和7年11月11日（火）午後1時30分からとさせていただく。また詳細は改めて通知する。

5 閉会

会長 本日の議題については、これですべて終了した。これにて令和7年度第2回の刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画懇話会を閉会とする。